

探究活動の入門講座を実施しました！

◇4月21日（火） 入門講座①「地域探究活動のススメ」

1年次生を対象に、関市市民活動センター、せき・まちづくりNPOぶうめらん事務局の田原晃成さんをお迎えして、探究活動の入門講座①を行いました。

本校では1年次及び2年次の火曜7限に、「総合的な探究の時間」の授業を実施しています。この授業は探究活動の中核を担っているもので、1年次では情報科の授業とコラボしながら地域課題に関するテーマに取り組む個人探究を、2年次では家庭科の授業とコラボしながらSDGsに関するテーマに取り組むグループ探究を実施しています。

入学したばかりの1年次生が、先週の2年次生と研究推進部長からの説明だけでなく、卒業後も探究活動に取り組んでいる先輩からの話も聞くことで、関高での探究活動を意欲的に取り組めるよう、外部講師をお招きし、探究活動について考える機会を設けました。今回は「地域探究活動のススメ」をテーマに、講師にとっての探究活動と、その進め方についてご講演いただきました。

講師の田原さんは本校卒業生であり、現在は関市市民活動センターでの市民団体支援や、高等学校の地域探究活動の支援を行っています。また田原さんが事務局員を務めるNPO「ぶうめらん」は、本校の探究活動のテキスト『関高校探究活動副読本 まちなかキャンパス』（関高校研究推進部監修、特定非営利活動法人せき・まちづくりNPOぶうめらん発行、令和4年）を発行しており、本校の探究活動を支援して下さる組織でもあります。

講演では、田原さん自身の話として、高校時代にブラジル留学をしたこと、そして他者に喜んでもらうことの大切さを感じたこと、「このまちを自分の居場所にしたい！まちを変えたい！」という思いを抱き、探究活動を通じてまちづくりに関わりたいと考えるようになったことなどを語っていただきました。

関高の先輩から熱いメッセージから、生徒たちは探究活動でしか得られないスキルを身に付けることの重要性を学んだ様子でした。

